

フランス政府奨学金留学生募集要項（文系）

2024 - 2025 年度

フランス大使館は毎年フランス政府奨学金(Bourses France Excellence Japon)(旧 BGF)留学生を募集しています。この奨学金制度は日本とフランスの大学間交流および研究交流の主要プログラムとして、フランス留学を目指す優秀な応募者を支援しています。フランスの高等教育機関への留学を希望する日本人学生を対象としています。

オンライン登録フォーム	https://www.japon.campusfrance.org/ja/formulaire-france-excellence
オンライン登録期間	2023年9月20日～11月20日23時59分
書類選考結果通知（メールにて）	2024年1月上旬
面接試験実施	2024年1月下旬
合格発表（メールにて）	2024年2月中旬
留学開始時期	2024年9月～
申請書類	・ オンライン出願登録書（カバーページを含む所定のもの） ・ CV（学歴書） ・ 推薦状 ・ フランスの大学の受け入れ承諾書 ・ 研究・留学計画書 ・ 直近の学業成績証明書 ・ 語学能力証明書

☆ここに記載される全ての情報は、フランス大使館により変更される可能性があります。

《お問い合わせ》

〒106-8514 東京都港区南麻布 4-11-44

フランス大使館文化部 大学交流アシスタント・奨学金管理担当

メール： bourses-cult.tokyo-amba@diplomatie.gouv.fr

募集対象・分野

留学先のレベル	応募可能な分野	出願に必要な学歴
Licence (または大学附属フランス語コース及び英語プログラムコース)	政治学、国際関係、 法学、 経済学、経営・管理学	学士課程2年次、3年次在籍者
Master	文化系各分野* (下記参照)	Master 課程への出願時(留学する年)に少なくとも学士号を取得済みであること。社会人可。
Doctorat	文化系各分野* (下記参照)	Doctorat 課程出願時(留学する年)に少なくとも修士号を取得済みであること。社会人可。

* Master, Doctorat 課程の募集対象分野

言語・文学： フランス文学、翻訳・会議通訳、言語学、フランス語教授法、教育学、哲学。

人文社会科学： 歴史学、考古学、地理学、社会学、人類学、人口学、神学、心理学、精神分析学。

芸術・文化： アートマネジメント、美術史、博物館学、映画研究、演劇研究、音楽研究、芸術系実技教育
(実技教育は、高等教育機関に所属して行う場合に限ります。)

経済： 経済学、経営・管理学、マーケティング、ビジネス。

政治・法学： 政治学、国際関係、ジャーナリズム、法学。

文系フランス政府奨学金の概要

1) 奨学金の種類／支給期間及び開始時期：

本奨学金は原則として最長2年間支給されます(詳細は以下をご参照下さい)。

奨学金の種類	留学する学年	滞在費支給期間	開始時期	滞在費支給
Licence/Master 奨学金	L2, L3	受入れ校より指定された期間	翌年の9月から	月額 860€
	M1	2年		
	M2	1年		
	D1	2年。ただし D3 については、他の奨学	翌年の9月から	月額 1588€

Doctorat 奨学金 ・最短 6 か月の留学から対象		金受給が決まれば社会保険のみ支給。		
	D2	2 年		
	D3	1 年		
	コチュテル又は コディレクション (給費生試験合格後、留学前に Convention/accord の提出が必要です)	日仏の共同指導教授 2 名の署名がある、 コチュテル契約書 (Convention/accord) またはコディレクションの書簡のいずれかに記載された期間 (最長 18 カ月)	翌年の 9 月から	月額 1588€ フランス滞在期間中のみ奨学金の支給。

***奨学金の延長は、原則としてありません。**

***受入れ校により特定の留学期間が定められている場合は、奨学金の支給期間はそれに準じます。**

給費生全員の特典：上記の奨学金に加え、給費生全員に下記の特典があります。

1. 大学登録料の免除。
2. 3 カ月以上の留学に必要なキャンパスフランスの「Etudes en France」オンライン登録料免除。
3. ビザ申請料免除。
4. CVEC 負担金の免除。
5. 現地のキャンパスフランスによるフランスでの受け入れや寮の予約サポート。
6. フランス政府による社会保険料の直接負担。
7. フランスまでの往復航空券の支給（渡仏する時点で日本在住（一時帰国は不可）の合格者のみ）。

その他の注意事項

- 1) 文系の奨学金は、フランスの高等教育機関で LMD のいずれかの課程を履修するためのものであり、その課程への登録が必須です。研修（スタージュ）のみの課程はこの給費の対象外です。
- 2) 受講するプログラムに海外留学が組み込まれている場合、フランス国外への留学期間中の給費は支給されません。また未受給の給費を留学後に持ち越すことはできません。
- 3) 受講するプログラムに**必修**の「研修・インターンシップ」が元々組み込まれている場合のみ、研修期間中の給費は支給されます。
- 4) 現役給費生または元給費生の場合、異なる受け入れレベル（Master, Doctorat）に応募する場合のみ、新たにフランス政府奨学金に出願できます。

2) 出願資格およびその他の規定・特色：

年齢制限：1994 年 1 月 1 日以降出生の者。研究・留学計画および志望動機に応じて、特別に例外を認める場合があります。

国籍：日本国籍（二重国籍を持たない者）。

健康：心身共に健全な者。

他の奨学金との重複受給について

フランス政府奨学金はフランスのヨーロッパ・外務省以外のフランスの省庁の奨学金（博士課程学生のためのフランスの支援制度である Contrat doctoral（博士契約）および Allocation de recherche（研究奨励金））、また、エラスムス・プラスおよび、フランコフォニー大学機構(AUF)の奨学金との重複受給はできません。その他、日本学生支援機構（JASSO）などの日本の奨学金との併給の場合は、フランス大使館文化部による精査のうえ「フランス政府給費生の身分を保証する社会保険給費」（及び、日本在住者にはそれに加えてフランスまでの往復航空券）が例外的に支給されることがあります。

パリの高等師範学校（ENS）の聴講生制度

合格者の中からフランス大使館文化部が決定した成績優秀者 2 名が、パリの高等師範学校（ENS）に聴講生として受け入れられています。合格者は、ENS の授業の聴講や図書館の利用が可能です。また、ENS の寮に入寮できる可能性があります。



キャンパスフランス日本支局による留学準備サポート

フランス政府留学局（キャンパス・フランス）日本支局では、留学希望者に対して、フランスの受入れ校の検討や出発前の手続などのサポートを行なっています。また、すでに志望校から受け入れ許可がおりているフランス政府給費生は、キャンパスフランスの面接が免除になります。



文化系フランス政府給費留学生の会（ABC）

ABC の会はフランス大使館文化部の奨学金でフランスに留学した元給費生の会です。2002 年に会として発足し、様々な交流のためのイベントを開催しています。また、フランス大使館とも

様々な交流を行っています。文化系給費生は、給費期間終了後、同会への加入が推奨されています。詳細は[こちら](#)。

France Alumni の会員資格

フランス政府奨学金留学生は全員登録資格があります。このネットワークを介し、会員を対象とした様々なお知らせや文化イベントご招待情報を入手することができます。留学後はぜひ登録を！



面接試験の概要

A 会場と日程

2024 年 1 月下旬に対面式またはオンラインにて面接試験を行います。

B 試験内容

面接試験は、フランス語のプログラム志望者はフランス語で、英語のプログラム志望者は英語で行われます。各々の分野の専門家とフランス大使館の代表者から成る日仏混合審査会が、選考基準（添付書類）に基づいて面接試験を行ないます。

面接時間は 20～30 分です。受験者は、まず留学計画のプレゼンテーションを行い（10 分程度）、続いて、面接官との質疑応答があります。面接にあたっては、プレゼンテーション（最大 5 ページ）を必ず powerpoint と pdf の 2 つの形式で準備して下さい。プレゼンテーションの構成は次のとおりです：

1. 自己紹介（パワーポイントのスライド 1 ページ）
2. 研究テーマ、留学計画の紹介（パワーポイントのスライド 2～3 ページ）
3. 志望動機（パワーポイントのスライド 1 ページ）

プレゼンテーションは留学計画を詳しく説明するものです。留学計画をアピールするために強調したいポイントや特徴を書いてください。ただし、パワーポイントはあくまでも発表の「支え」であり、読み上げるものではありません。実際、パワーポイントをただ読み上げた場合は、減点の対象となります。プレゼンテーション（pdf 版）は、対面面接の場合、面接当日 USB で持参してください。オンライン面接の場合は、試験日より前（試験日が月曜日の場合は前の週の金曜日までに必着）に必ずメールで下記までお送りください：

bourses-cult.tokyo-amba@diplomatie.gouv.fr

1. オンライン出願登録書（記入漏れのないもの）

➡ Master1 の志願者は、第 2 希望の大学を出願登録書に必ず記入してください。その場合、第 1 希望と第 2 希望の大学の受講言語は同じであること。

2. CV（学歴書）（仏文。英語プログラムの方は英文。ともに和訳要。）（1 つの PDF にして提出）

小学校以降の学校名、研究所名、研究経歴、職歴、発表論文、学位、資格、ならびにその取得年月日を記載したもの。（2023 年度取得見込のものも含む）

過去 3 カ月以内に撮影したカラー証明写真（パスポート用サイズ）を 1 ページ目に添付（必須）。

3. 推薦状（仏文または英文）

指導を受けた教官あるいは研究者からの推薦状を一通提出して下さい。推薦者が所属する機関名入りの用紙に、日付、推薦者の氏名、役職、連絡先を明記し、署名入りのもの。

4. 受け入れ承諾書（仏文または英文）

希望するフランスの受入れ高等教育機関（またはフランスで指導を希望する教官あるいは研究者）からの受け入れ承諾書（受け入れ期間が明記されたもの）を必ず提出してください。承諾者が所属する機関名入りの用紙に、日付、承諾者の氏名、役職、連絡先が明記され、署名入りのものを提出してください。

➡ 提出できない場合は、理由（学内選考や可否の結果等を待っている場合は結果発表の時期も）を書いて承諾書の代わりに提出してください（**仏文または英文**）。

➡ 受け入れ承諾書が出願に間に合わない場合、面接試験の前までに別途提出することが可能ですので、お送りください。M1 志願者以外で面接日までに承諾書が入手できないかたは必ずご一報ください。いずれの場合も下記宛先までご連絡下さい。

（宛先） bourses-cult.tokyo-amba@diplomatie.gouv.fr

5. 研究・留学計画書（仏文または英文。和訳要。）（1 つの PDF にして提出）

詳細な研究・留学計画書（1～2 ページ）とその和訳を提出して下さい。フランス語プログラムの方は仏文で、英語プログラムの方は英文で提出して下さい。

6. 大学の成績証明書（英文）

直近の（昨年度の）大学の成績証明書を提出して下さい。海外の大学の成績書を提出する場合、和訳は必要ありません。

7. 語学力を証明する書類のコピー

大学の講義やセミナーを受講するのに必要なフランス語の語学力を証明する TCF、DELFI、DALF のいずれかの合格証が必要です。

また、留学受け入れの最終決定は志望校が判断しますので、受け入れ先機関の要求する語学力レベルを各自必ず確認してください。

(英語プログラム志望者について)

最低限度のフランス語能力が必要です。

フランス語については TCF または DELF/DALF、英語については TOEIC または TOEFL または IELTS の、成績が明記されている合格证や証明書のコピーを必ず提出して下さい。

➡ オンライン登録時に語学力証明のコピーを願書に添付できない場合は、その理由と取得見込み日程を書いた届け出書（仏文または英文）を、添付してください。証明書は入手でき次第スキャンして、メールにてお送りください（宛先：bourses-cult.tokyo-amba@diplomatie.gouv.fr）。

☆出願登録書に添付する応募書類は、それぞれ、下記のように番号と保存名を明記してください：

1. Formulaire de candidature
2. Curriculum scolaire et universitaire
3. Lettre de recommandation
4. Lettre d'acceptation
5. Un projet de recherche ou d'étude
6. Relevé des notes
7. Certificat de langue

☆書類に不備がある場合は受け付けません。

文系給費生の選考方法について
(2024年度フランス政府奨学金)

1. 書類審査

書類審査は応募者の経歴と留学計画について審査が行われます。

語学力は語学テストの評価で審査します。書類選考による内部総合順位をつけ、最終的一次選考合格者を決定します。

2. 面接試験

面接試験は日仏混成審査委員会により行われます。面接官はフランス大使館文化部の代表者に加え、アンスティチュ・フランセや日仏会館フランス事務所の専門家、日本人・フランス人の大学教員で構成されます。受験者と同じ大学に属する教員が面接官とならないよう、審査員の構成に配慮しています。

3. 合格者の決定

面接試験の後、受験者に順位がつけられ、上位の者が文系給費試験の合格者となります。専攻分野別に補欠リストも作成されます。

面接試験の結果（合格、補欠、不合格者）は、受験者全員に翌年2月中旬にメールにて通知します。

(2023年8月更新)